



泡盛の共同物流特別賞

県酒造組合（玉那覇美佐子会長）と物流・倉庫業のダイワコーポレーション（東京、曾根和光社長）による「泡盛の沖縄県外への出荷物流の共同化の取り組み」が、二酸化炭素排出量削減に貢献したとしてこのほど、グリーン物流

.....
 受賞を報告した（写真左から）
 県酒造組合の佐久本稔主事、玉
 那覇美佐子会長、ダイワコーポ
 レーションの若林敏男顧問。26
 日、県庁

県酒造組合

ダイワコーポレーション

パートナーシップ会議（主催
 ・国土交通省、経済産業省）
 で特別賞を受賞した。県内では
 初受賞になる。

同賞は、物流分野でのCO₂削減
 など環境負担の軽減につながる
 事業を対象に表彰している。

酒造組合は、物流コストの削減
 と注文への即時対応から関東圏での販路拡大を狙い、東京
 に酒造所が共同で利用する保管倉庫
 「共同物流センター」を整備。那覇港から東京

県外出荷 CO₂削減

港までのコンテナ船、物流センターから納品先までの共同配送により、CO₂の6・6割削減（4〜8月）に成功した。

両者は26日、県庁の屋比久盛敏商工労働部長を訪れて受賞を報告。玉那覇会長は「コストもCO₂も削減でき、喜ばしい。参加する酒造所を増やして効果を高めたい」と抱負を述べた。

コンサルティングを担当するダイワコーポレーションの若林敏男顧問も「ユニークな取り組みが評価された。これからも拡大できる事業」と述べた。